

平成20年度 科学研究費補助金（特別推進研究）
事後評価結果

研究課題名	現代日本階層システムの構造と変動に関する総合的研究	研究代表者名 (所属・職)	佐藤 嘉倫（東北大学・大学院文学研究科・教授）
-------	---------------------------	------------------	-------------------------

研究課題の総合的な評価

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

評価意見

「社会階層と社会的移動に関する全国調査」（SSM調査）をもとに、しっかりと分析が進められている。

労働市場の流動化が、正規雇用・非正規雇用、男女差、地域差により大きく異なる点、非正規雇用層が職業資格を選考したがる傾向など、興味深い結果が導かれている。また、企業の規模による初職継続期間において、大企業・官公庁の継続期間は中小企業と比較すると長くなっている。以上のように、日本に関する現状の研究は、着実な分析が進められている点は、高く評価したい。

しかし、分析結果の背後にある要因分析については、統計的手法も含めて今後さらに深めてほしい。また、海外との比較では、日本・韓国・台湾の3カ国が対象となっているが、日本で得られた結果を、海外へ発信できる内容とするために、海外ジャーナルへの掲載をぜひ実現してほしい。

日本における富裕層の固定化は、相続税などの制度面との関係も強いと予想される。税制、経済システムなど、背後にある各国の制度的比較も分析に含めた研究成果を期待したい。